



欲望

www.columnland.net

君をずっと僕のそばに

shooting star

輝
また
い
だけ
だ
っ
た
の
に

輝
また
い

輝
また
い

僕の命はあと数秒
地球の人には
気付いてもらえないかな

少し手を伸ばしすぎたために
ただそれだけなのに

必死だったんだ

ちっぽけで弱弱しい僕は
それでも輝きたいと必死だった

僕の周りには光り輝くものか沢山あったから
誰も僕を見てくれなかった

世界に欲望が存在しないことの証明

世界において無があるからこそ有がある
闇があるからこそ光がある

男が(一)

つまり、万物には反対概念が存在する。

さて、欲望の反対概念とは何か、

それは、漢字的に考えて無欲だろう。

欲が無いって書くし。

無欲について話す前にひとつ

無欲という概念を持つバカな生物は人間だけである

というわけで動物はどうすんだよとかの疑問は受け付けない

受け付けないと言ったら受け付けない

さて、無欲に話を戻そう

無欲は本当に存在するのか

まあ、存在するでしょう

いわゆる背理法つてやつですよ、背理法

ここにおいて、なぜ人が無欲を達成しようとするのか

まあ、欲望は醜いと考え

からの、俺は醜くないと思いたい

からの、無欲になりやいんじやね

簡単に言うくと虚栄心だね、うん

このコンボが示すものは何か

無欲自体が一つの欲であるということである

つまり、無欲は欲の一形態だったんだよ

.....

べつ別に「なったんでえー」とかいらないんだからね、チラッ

うーゴホン、いや三本だっけか、鳥の足

まあ、そんなことはどうでもいいんだ

結論を言おう

無欲は欲望の一形態である

万物は自分の中に反対概念を含むことができない

つまり、存在が矛盾するので無欲というのは存在しない

よって、反対概念の存在しない欲望も存在しない

目の前の

欲望

に囚われるな

揺るぎない

野望

を抱えて進め！

寝たい。

DSがほしい。

PS3買いたい。

髪を染めてみたい。

i pod がほしい。

ステーキが食べたい。

家にプールがほしい。

ラスベガスで遊びたい。

泳げるようになりたい。

海外に旅行に行きたい。

微分積分を教えてほしい。

甲子園球場に応援にいきたい。

氷川台駅に急行を止めてほしい。

なんでも願いのかなう道具がほしい。

円周率を千桁くらいまでおぼえたい。

イージス艦で僕の家を防衛してほしい。

来年、たくさん新入部員が入ればなあ。

クリスマスと女性と一緒に過ごしたい。

世の中からコンタクトレンズを消したい。

お腹がすいたらスニッカーズを食べたい。

東横線と副都心線が早く直通してほしい。

Zガンダムのプラモデルが作りたい。

字がきれいに書けるようになりたい。

めがねっ子と知り合いになりたい。

優しい目をした誰かに会いたい。

お兄ちゃん、と呼ばれたい。

ツンデレな彼女がほしい。

大学の近くに住みたい。

心の壁を取り払いたい。

そうだ、京都いきたい。

登別温泉に行きたい。

板橋区で仕事したい。

明日晴れてほしい。

愛を買ってみたい。

地デジ化したい。

死にたくない。

妹がほしい。

靴の中に入った石を取り除きたい。

十万円くらい道に落ちててほしい。

ブラックホールに吸い込まれたい。

携帯の電池パックを新しくしたい。

誰かに心の隙間を埋めてほしい。

スマートフォンを使ってみたい。

アイスランドに行ってみよう。

Intel Core i7を搭載したい。

実は東大にはいりたい。(笑)

時給がいいバイトをしたい。

ちゃんと二年生になりたい。

Mac Book がほしい。

海賊王にオレになりたい。

欲望の塊

100もの願いが集まって
大きな欲望の塊になる

強くなりたい。

筋トレしたい。

社長になりたい。

超能力を使いたい。

免許を取得したい。

核兵器を廃絶したい。

冬に花火をやりたい。

新しい竹刀がほしい。

新しいスーツがほしい。

タイムトラベルしたい。

とりあえず彼女がほしい。

ガンダムに乗ってみよう。

スライムを捕まえてみたい。

阪神タイガースに優勝してほしい。

一日が30時間だったらいいのに。

銀杏が臭いのはどうにかしてほしい。

AKBの誰かと実際に会ってみよう。

少女がベランダにぶら下がってほしい。

龍馬伝の最終回を見損ねたので、見たい。

買えるものはマスターカードで買いたい。

ある教科の単位落とした理由を知りたい。

タクシーで青森から鹿児島まで行きたい。

ケータイからワンセグを排してほしい。

三億円強奪事件の犯人を捕まえたい。

誰か物理実験の計画書やって。

ニュータイプになりたい。

逆玉の輿を実現したい。

やっぱり彼女がほしい。

地球温暖化を防ぎたい。

新しいメガネがほしい。

巨万の富を築きたい。

高校生に戻りたい。

リア充になりたい。

千葉県に住みたい。

酒が飲みたい。

猫を飼いたい。

禁煙したい。

發明家

エフ氏は發明家だった。彼はいつも妙なものを發明しては周りに自慢していた。しかし大方は役に立たないものであったので、しだいに周囲の人達からは変人というレッテルをはられ、疎まれていた。いつも自分の發明に没頭していたため、生活費は彼の妻が働いて稼いでいた。彼はその發明品の数々をいつもまず妻に見せては得意げになっていた。そんな彼を、いつも妻はさみしげに微笑んで眺めていた。

ある日、エフ氏はまた新たな發明品を完成させた。それは、他人の欲望や願望が分かるという機械であった。ヘッドホン型をしていて、人とすれ違うとその瞬間にその人の心の声が聞こえてくる、というものである。

「ようし、今回の發明品はかなり上出来だな。さつそく試してみよう。おつ、向こうから男がやって来た。あれは大学生かな？ よし、すれ違うぞ！」

(ああ、彼女欲しい！)

「ふつふつ。大成功だな。これは面白い。もっといろんな人の欲望を聴いてみよう。」
エフ氏は近所中を歩き回り、人とすれ違うたびにいろいろな「欲望」を聴いた。

(宝くじで一億円当たらないかなあ。)

(絶対あの大学に受かりたい！)

(あの上司の顔一発でいいからぶん殴ってやりたい…)

(はあ、そろそろカップラーメン以外のものが食いてえ。)

(ポケモンマスターになりたい！)

(ああ、今日の席替えではあの娘の隣になりますように！)

(あの野郎！ い、いつか殺してやる！)

(Ach, ich möchte ein Natto essen)

(明日は何としてでも、試合に勝ちたい！)

「ふう、面白かった。次はどこに行こうかな。あつ、そうだ、妻のを聴いていなかった。あいつ、いったいどんな願望があるんだろう。ちよつと楽しみな。どれどれ…。」
(はあ…。あの人はいつまでたっても自分の好き勝手ばかり。私にだけいろいろと押し付けて、もう我慢の限界だわ！ よし、次あの人が發明品とやらを持ってきたら、この家から出て行ってやるわ！)

エフ氏はすぐにその發明品を捨てた。

答

君がいけないんだよ
そんなに純粋だから
疑うことを知らない真っ直ぐな瞳
暗く閉ざしてしまいたくなるだろ

抵抗しても無駄だよ
この手で君を穢してあげる
光の当たらない世界でずっと一緒にいよう

・・・ああ

どうして？

君はまだ笑っている
傷ついた心で僕に微笑みかけてくれる
泣いているのは僕の方

僕は・・・

僕は

もつと、わたしに
構ってほしいな

あ、でも忙しいもんね。うん、大丈夫だよ。

——でも、やっぱり、さみしいな

今週は課題レポートの提出も

中間テストもサークルもバイトもあるよ・・・

時間が足りないなあ・・・もっと時間がほしいよ・・・

ああ・・・

1日

48時間

であったらいいのに♪

欲望と願望

とある日のこと、神様が心に語りかけてきた。

「多数決で、お前らの願いを一つだけ叶えてやる」

誰も疑いはしなかった。

だって、声の主は神様なんだから、疑うなんておかしかった。

ニュースでも新聞でも取り上げられたし、学校も職場も、それこそ世界中がその話題で持ちきりだった。

テレビでは政治家達が「国益のために意志を一つに」と主張し、会社では、会社の発展を願うことが強制された。どちらも、願いが叶った暁の膨大な見返りを確約した。

宗教家達は声の主がどの神様であるのかを議論したけれど、結論などは出やなかった。彼らは、自己の信ずる宗教の正当性を願うことにした。一方で、無神論者は、今一瞬の自己矛盾に目をつむり、声の主の消滅を祈った。

戦禍の少女は世界の平和をひっそりと願い、病床の少年は家族の安泰を、当の家族は少年の回復を乞うた。

太陽が幾度か昇り沈んだ頃、神様の声が再び聞こえた。

「圧倒的な結果だ。こんなにも多くの者が同じことを願い、私がそれを叶えてやれることが大変うれしい」

願いは確かに叶えられた。

地球上、キリンやゾウや鳥やトカゲや、虫もミジンコも木も草も、心の中で歓声を上げ、神の存在に感謝した。

人間は喜びも悲しみもなかった。そもそも、彼らの姿は、もうどこにもありやしない。

由来

あるところに人間から欲を固体にして取り除くことができる男がいた。世界中の人々が欲を取り除いてもうおうと彼のもとへ集まった。

そこで彼は依頼者が一時的に寝泊まりできるように、小さな町をつくることにした。幸い、材料には取り除いた欲がたくさんあった。

こうしてできた町には毎日のように欲をもった人間が入って来た。そこでこの町は「入欲」^{ニューヨーク}と名付けられた。

「入欲」と。

XX : XX XX.XX.20XX

初めて見かけた時から、僕の心はいつだってひとつだった。この欲望に、あらがえるとはとても思えなかった。

初めて見かけた時から、私の心はいつだってひとつだった。この欲望に、あらがえるとはとても思えなかった。

15 : 28 4.3.20XX

今日も僕は彼女のことを見つめる。毎日同じ制服に身を包む彼女のことを考えるだけで、僕は心が温かくなる。

けれど、彼女が男子と話しているのを見ると、僕の心はすぐに荒んでしまう。今は女友達と話しているようだ。僕は安心して物陰から彼女のことを見つめる。

19 : 55 10.13.20XX

僕はとうとう耐えられなくなった。一体いつから、何日、何週間、何カ月。

数えるのも馬鹿馬鹿しいと思えるほどの日々を、僕はここに費やしてきたわけだけれど、それだけじゃ耐えきれない。僕は夜道を歩く彼女の後ろ十数メートルにびったりついていていた。

そして彼女が自宅のマンションに戻ったのを見て、行動を起こす。

彼女は何度か不用心にも鍵をかけ忘れていた。今日がそんな日でとてもありがたく感じる。何故なら、今日彼女の両親は夫婦二人で旅行に出かけているはずだからだ。

これから僕は、自分の欲望を満たす。独占欲と言う名の。

僕は気付かれないように部屋の中に侵入する。靴を持ったまま、ゆつくりと歩いて、下調べをしていた彼女の部屋へと向かう。

そうして、そのまま彼女を僕のモノに刺されて刺されて、それから肉を削り取られてそれは彼女の口元に持って行かれそうして噛みちぎられた。

彼女は珍味を味わうように恍惚としている。僕の意識は途切れつつあるけれど、僕はある意味で彼女のもので、彼女は僕のものになった。

たった一人の、大好きな君。

今日も私の日常は何も変わらない。学校で友達と他愛ない話をして、そんな適当な話題で盛り上がる。

けれど、私はそれだけじゃ満たされない。いつからか、私の心はおかしくなつてしまった。そう思ったことすら、もう忘れそうになっている。

私はとうとう耐えられなくなった。一体いつから？

いつかなんて分からないし、考えるのも馬鹿馬鹿しい。私の後ろには誰かが付いてきている。それは、こっそり取り出したミラーからずっと見えていた。

私はいつものように自宅の鍵を回し、家に入り、鍵をかけなかった。

今日は両親が旅行に出かけている。つまりこれはチャンスだ。

私が私であるための。

これから私は、自分の欲望を満たす。人はそれを、食欲と言うだろう。

私はキッチンに向かうと、包丁を取り出した。

そうしてゆつくりとした足取りで、自分の部屋へと向かう。誰かの気配を感じながら、その気配を辿るように、ただただ私の私の私を追い求めて私はその私の部屋の中へと進んだ。

そして、私はそこにいた男を刺した。刺して刺して、それから肉を削り取った。それからそれを口元に持っていくと、味わうように咀嚼する。

思ったよりも美味しくない。

まあ、中には美味しい人もいるだろう。でも今はあなただけを見る。大好きな獲物の一人。

ヤンデレ女と

ストーカー男

オ
マ
エ
ガ、
ホ
シ
イ

コンテスト結果

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
01	君をずっと僕のそばに	0 pt	12 位	3 sp
		言ってみたい/言われてみたい、こんなセリフ。 フレーズの華やぎ、文字バランスもフォントも整って、まさに表紙好適品。 いい裏表紙（＝伴侶）までゲットできて、作品のためにも良かった良かった。 特別賞：（13とのカップリング）副音声で賞 from R班（重ねて好かして見てみよう☆）かさねて見ま賞 from X班（かさねてみると、すごい意味深。）対賞 from Y班（同じ内容で印象が全然違う。）		
02	shooting star	6 pt	3 位	0 sp
		この一瞬の輝きにすべてを賭ける。流れ星くんのいっしょうけんめいさが、セリフとフォントと、そしてレイアウトの力でくっきり立ってきて、ほんとに絵本のよう。 欲望うずまく世界を一瞬忘れ、ハートウォーミングな宇宙へようこそ。 さわやかにブロンズ・メダル、おめでとう！		
03	世界に欲望が存在しないことの証明	3 pt	8 位	0 sp
		わー、むずい。数学科のTAさんにボタンタッチです。 4行目の認めていいのかどうか分からない前提（＝「万物には反対概念が存在する」）がなくても、欲望にさえ反対概念があれば証明は成り立つ。 よって4行目があるせいで、証明がおかしに見える。――だそうな。 イチオシフレーズ：「どやっ」		
04	無題（欲望＜野望）	4 pt	4 位	0 sp
		パワフルな標語でした。視覚的にもアピールしてきます。 予想外の作者さん登場。まさに、どやっ!?		
05	欲望の塊	11 pt	2 位	3 sp
		なんだろう、この形？ 銀河？？ UFO？？？ そんな視覚効果と、これでもかと並べたなかみのリアル感が、いい相乗効果を発揮してます。 ちょこちょこ入ってるネタが楽しくて、つい読んでしまふ。イチオシフレーズ大賞は狙い通りだったでしょうか。シルバー・メダルもゲットです。おめでとう!!! 特別賞：No彼氏 A lot of 彼女賞 from T班（名前のとおり）左右対賞 from V班（レイアウトです。）努力賞 from W班（がんばったから） イチオシフレーズ：「女の子のパンツを覗きたい」「明日晴れてほしい。」「実は東大にはいりたい。（笑）」「海賊王にオレ（→平仮名きぼー）はなりたい。」「買えるものはマスターカードで」		
		4 pt	4 位	0 sp

06	発明家	さみしげに微笑む控えめな妻かと思いきや……なラストでした。 あーあ、もったいない。この発明品ならお金儲けできそうだったのに。 いかにも世渡りできなさそうなこの発明家さんと奥様のその後が気になります。
07	咎	0 pt 12 位 0 sp 背徳的な響きで始まって、懺悔のような後段へ。情景のすべてが見えない分、より想像が刺激されます。 咎、君がいけないのか、僕の罪なのか……
08	無題（構ってほしい）	4 pt 4 位 0 sp 小さな、いじらしいつぶやき。 ほっとけなくなるよね、うん。 レイアウトで、すっと伝えていただきました。
09	無題（48時間）	3 pt 8 位 0 sp でかフォントでインパクト大。切実な叫びが伝わってきます。 これからますます時間が欲しくなる年末、おだいじに。
10	欲望と願望	15 pt 1 位 1 sp 神様コワイ。そんな多数決で人間が消滅。 アイディア・展開・オチ、すべてにブラボー!! あざやかな仕上がりでした。 おめでとうゴールド・メダル!!! 特別賞：あの黒くてツヤツヤしたG様の意見がないで賞 from S班（G様ほど人間を利用している生き物が人間をほろぼすわけがない）
11	由来	4 pt 4 位 0 sp 設定はおもしろかったけれど、オチがやや肩すかしの感。どんな家ができたか、あたりで遊んでいただくと、もっとネタが重層的になって楽しかったのでは。それでもネタ不足に悩んだ今週、強運にも助けられて本選入りです。 イチオシフレーズ：「入欲」×2
12	ヤンデレ女とストーカー男	3 pt 8 位 1 sp 同時並行ドラマが交錯してみると・・・女の勝ち！なラストが、おそろしい。 悪夢がエコーするような13番作品とのコラボが、おそろしい。 作者さんが、みんなの予想通りだったことも、おそろしい。 特別賞：感動巨編賞 from U班（食欲と独占欲のすれちがいに全米が泣いた）
13	オマエガ、ホシイ	3 pt 8 位 5 sp ということで、今週のシメは、ホラーでどうぞ。 表紙との呼応が、みんなの洞察を誘って最多特別賞でした。やったねセブンのナイスサポート☆ 特別賞：オマエガ、ホット賞 from Q班（裏から読むと） 恐いで賞 from Z班（恐いので） (1とのカップリング) 副音声で賞 from R班（重ねて好

		かして見てみよう☆) かさねて見ま賞 from X班 (かさねてみると、すごい意味深。) 対賞 from Y班 (同じ内容で印象が全然違う。)
イチオシフレーズ:「オマエガ、ホシイ」×2		